

2023年度 決算説明資料

2024年5月9日

旭化成株式会社

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2023年度 通期実績

- **前期比で全セグメントともに増益。**「住宅」が堅調に成長した他、「ヘルスケア」もクリティカルケア事業の牽引により業績改善
- 前回予想（2024年2月発表）比では、「マテリアル」を中心に全セグメントともに利益上振れ。ただし親会社株主に帰属する当期純利益は、米国連結子会社間の株式譲渡による法人税等の益を計上した一方、基盤マテリアル事業などの一部事業の減損損失などにより、下振れ

2024年度 通期予想・方針

- **2023年度比で全セグメントともに増益を見込む。**自動車、電子機器、半導体市場などの緩やかな回復を背景とした「マテリアル」の業績改善や、「住宅」および「ヘルスケア」の堅調な成長を見込む
- 各国政府や中央銀行の政策、中国経済、地政学的リスクなど、先行き不透明な経営環境は継続。引き続き、原燃料コストを踏まえた適正なプライシング、原価低減や販管費削減など収益体質の強化に取り組む
- 基盤マテリアル事業など石油化学チェーン関連事業の構造転換の検討を加速させるとともに、投資の着実な刈り取りや採算性の精査を徹底した上で、成長牽引事業への投資を進める

株主還元

- 2023年度の年間配当は36円（前回予想から変更なし）
- 2024年度の年間配当は、株主還元方針を踏まえ、前年並みの36円を予想（配当性向49.9%）

中計の 取り組みの進捗

- カナダにおけるリチウムイオン電池用湿式セパレータ「ハイポア」の製膜・塗工一貫工場の建設を決定
- 西日本におけるエチレン製造設備のカーボンニュートラル実現に向けた化学3社連携の検討を開始

事業環境の大幅な悪化を背景に、基盤マテリアル事業などの一部事業の減損損失を計上

持分法投資損失および減損損失の主な背景

- 中国市場を中心とした需要減速や、エチレン等能力増強による市況下落といった事業環境の大幅な悪化を背景に、2022年度に基盤マテリアル事業など石油化学チェーン関連事業の業績が悪化
- 2023年度も引き続き業績が悪化。厳しい事業環境が当面続くことを想定し、減損損失を計上
- なお、減損対象となる事業には、連結業績上の営業損益が黒字の事業も含まれるが、国内中心に資産価値を精査した結果、減損損失を計上

基盤マテリアル事業など
石油化学チェーン関連事業の
構造転換の検討を加速

	対象資産	対象事業	損失額（億円）	主な対象サブセグメント
持分法投資損失	PTT旭ケミカルに対する持分	AN、MMA	417	
減損損失	汎用石化・樹脂資産グループに関連する設備	AN、基礎化学品、MMA等	584	環境ソリューション事業 （基盤マテリアル事業）
	再生繊維製造設備	キュプラ（ベンベルグ）	122	モビリティ＆インダストリアル事業
	ガスセンサ事業に関連するのれん等	ガスセンサ	40	
	その他の製造設備等	繊維、樹脂関連等	160	ライフイノベーション事業

1. 2023年度通期実績

売上高は、「マテリアル」で中国市場を中心とした想定以上の需要減速や市況下落の影響を受けたが、「住宅」および「ヘルスケア」が堅調に推移し、前期比で増収

営業利益は、前期比で全セグメントともに増益。「住宅」が堅調に成長した他、「ヘルスケア」もクリティカルケア事業の牽引により業績改善。また、前回予想（2024年2月発表）比では、「マテリアル」を中心に全セグメントともに利益上振れ

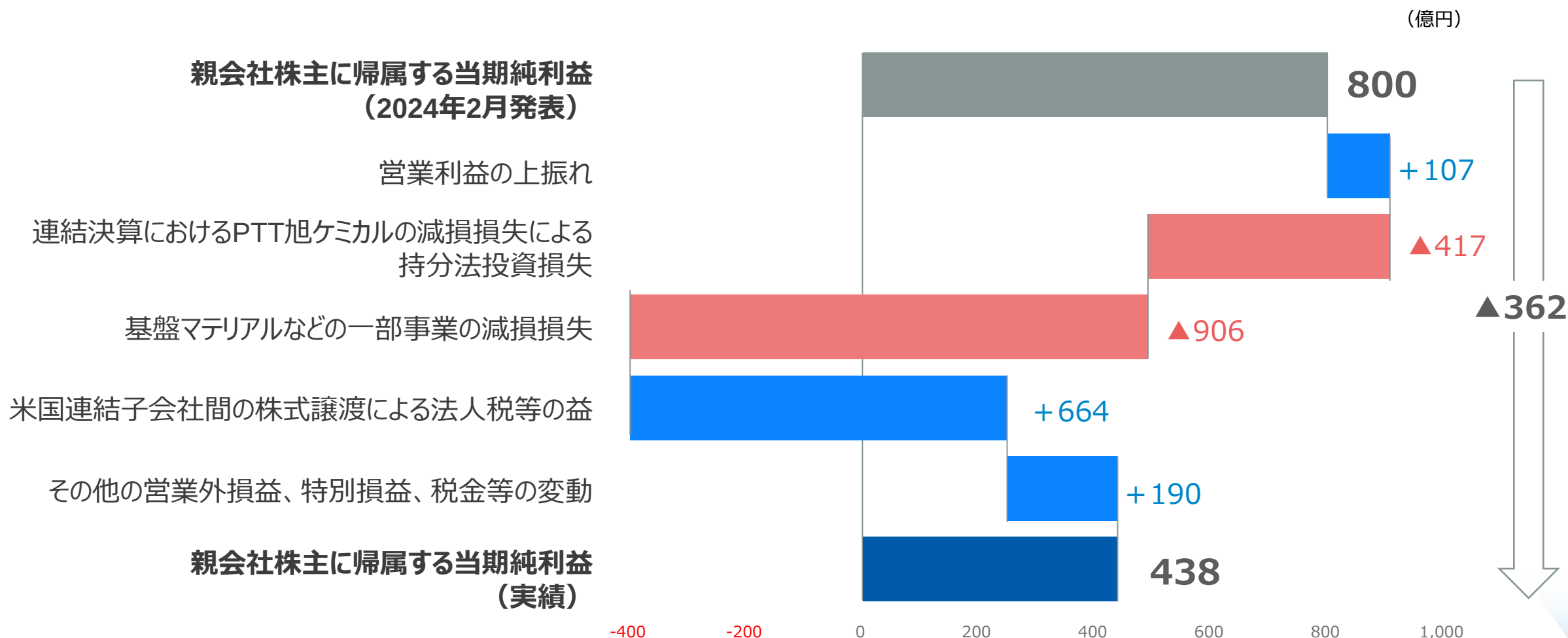
親会社株主に帰属する当期純利益は、Polyporeの減損損失があった前期からは大幅に改善。前回予想比は次ページにて詳述

		2022年度 ^{*1}	2023年度	増減額	増減率	2023年度 前回予想 (2024年2月発表)	増減率
売上高	(億円)	27,265	27,849	584	2.1%	27,750	0.4%
営業利益	(億円)	1,277	1,407	130	10.2%	1,300	8.3%
売上高営業利益率		4.7%	5.1%			4.7%	
のれん償却前営業利益	(億円)	1,650	1,703	54	3.2%		
EBITDA	(億円)	3,050	3,229	179	5.9%		
売上高EBITDA率		11.2%	11.6%				
親会社株主に帰属する当期純利益	(億円)	-919	438	1,358	—	800	-45.2%
EPS	(円)	-66.30	31.60	97.90	—	57.71	-45.2%
のれん償却前EPS	(円)	-39.42	52.96	92.38	—		
相場平均為替レート (USD/円)		135円	145円			144円	
相場平均為替レート (ユーロ/円)		141円	157円			156円	
国産ナフサ価格		76,700円/kl	69,200円/kl			68,750円/kl	
1株当たり配当金		36円	36円			36円	

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

親会社株主に帰属する当期純利益の前回予想からの変化

親会社株主に帰属する当期純利益は、米国連結子会社間の株式譲渡による法人税等の益を計上した一方、基盤マテリアルなどの一部事業の減損損失などにより、前回予想比で下振れ



2023年度実績（セグメント別：前期比）

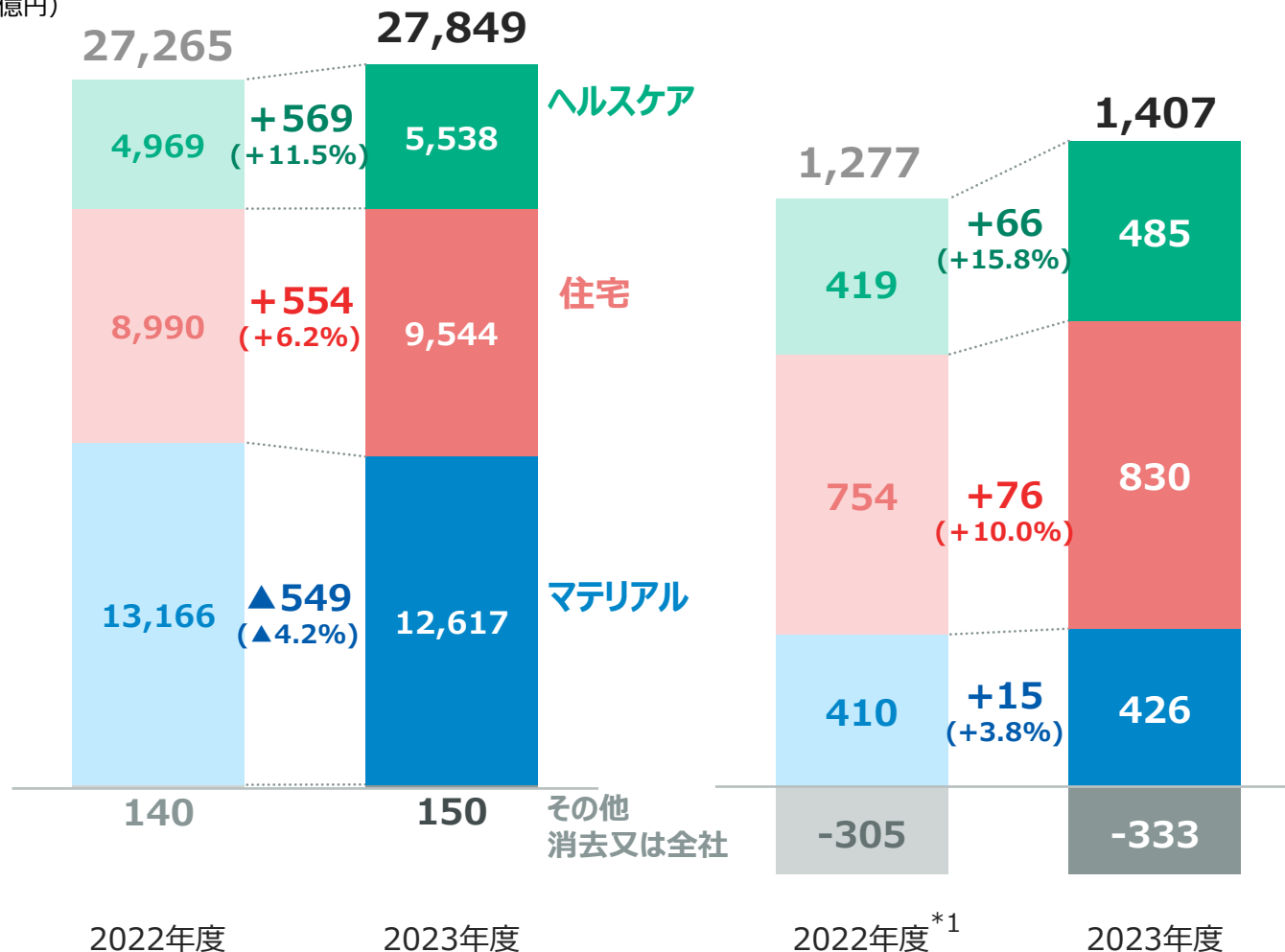
売上高 前期比

+584億円（+2.1%）

営業利益 前期比

+130億円（+10.2%）

（億円）



ヘルスケア

増収・増益

- ・ **医薬・医療事業▲40億円**：ライセンスの一時金収入の減少や、Bionovaの新規連結に伴うマイナス要因などにより、減益
- ・ **クリティカルケア事業+106億円**：LifeVestの保険償還状況の改善や除細動器の販売価格の上昇、部材調達難の改善に伴うAEDの販売量の増加により、増益

住宅

増収・増益

- ・ **住宅事業+56億円**：建築請負部門で数量が減少したが、不動産部門や海外事業部門が伸長し、増益
- ・ **建材事業+20億円**：価格転嫁の進捗により、増益

マテリアル

減収・増益

- ・ **環境ソリューション事業+41億円**：基盤マテリアル事業で需要減速による販売量減少や市況下落による在庫受払差の影響などがあった一方、前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費減少などにより、増益
- ・ **モビリティ&インダストリアル事業+22億円**：自動車内装材事業の販売量の増加や交易条件の改善により、増益

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

2023年度実績（セグメント別：前回（2月発表）予想比）

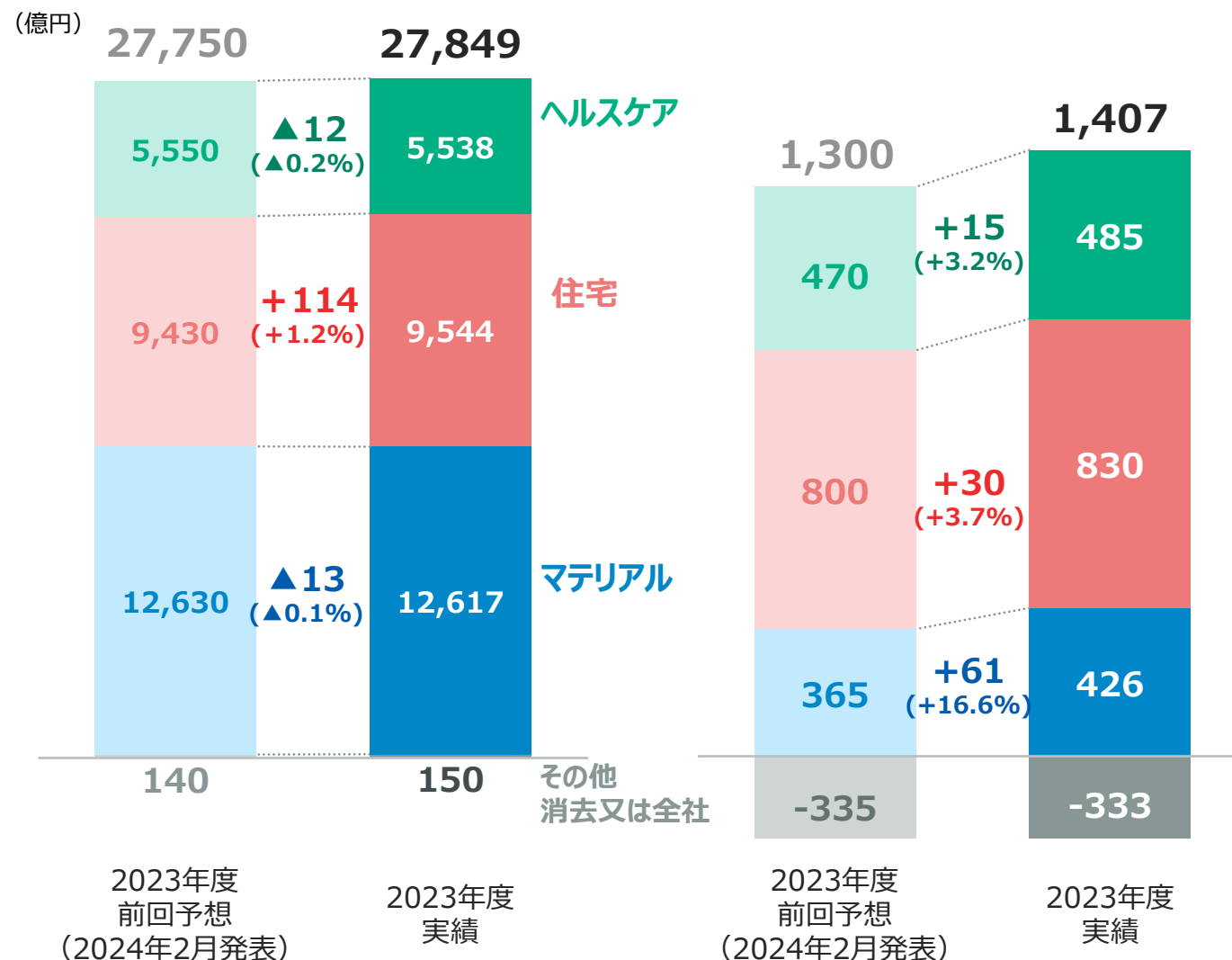
AsahiKASEI

売上高 前回予想比

+99億円（+0.4%）

営業利益 前回予想比

+107億円（+8.3%）



ヘルスケア

売上高 想定並み・営業利益 上振れ

- ・ **医薬・医療事業+10億円**：医薬事業において販管費が想定より減少し、利益上振れ

住宅

売上高・営業利益 上振れ

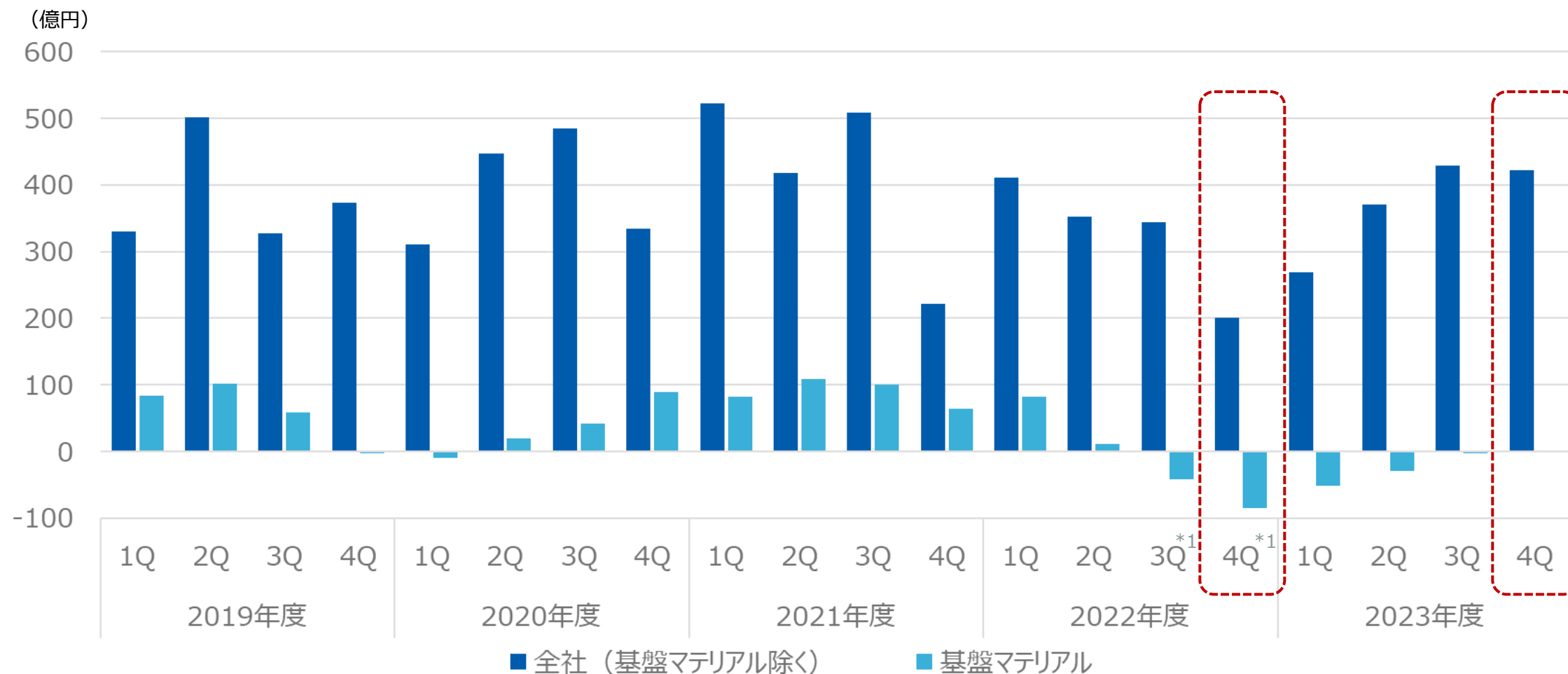
- ・ **住宅事業+35億円**：建築請負部門や不動産部門の堅調な推移や固定費削減により、利益上振れ

マテリアル

売上高 想定並み・営業利益 上振れ

- ・ **環境ソリューション事業+80億円**：基盤マテリアル事業における取引条件の改善や固定費削減に加え、セパレータの販売量が想定を上回ったことにより、利益上振れ

第4四半期の営業利益は前年同期比で大幅に改善。過去5年間でも最高の水準



*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

前期比の 主な増減要因

販管費

円安により海外子会社の販管費の換算額が増加した他、新規連結因などにより増加

営業外損益

連結決算におけるPTT旭ケミカルの減損損失などにより持分法投資損益が悪化

特別損益

基盤マテリアルなどの一部事業の減損損失を計上した一方、Polyporeの減損損失があった
前期からは改善

(億円)

	2022年度 ^{*1}		2023年度		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	27,265	100.0%	27,849	100.0%	584	2.1%
売上原価	19,527	71.6%	19,689	70.7%	162	0.8%
売上総利益	7,738	28.4%	8,160	29.3%	422	5.5%
販管費	6,461	23.7%	6,752	24.2%	292	4.5%
営業利益	1,277	4.7%	1,407	5.1%	130	10.2%
営業外損益	-68		-506		-438	
(内、持分法投資損益)	(9)		(-381)		(-390)	
経常利益	1,209	4.4%	901	3.2%	-308	-25.5%
特別損益	-1,834		-613		1,222	
税前利益	-625	-	288	1.0%	914	-
法人税等	-275		175		449	
非支配株主に帰属する当期純利益	-19		-25		-6	
親会社株主に帰属する当期純利益	-919	-	438	1.6%	1,358	-

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

基盤マテリアルなどの一部事業の減損損失を計上した一方、Polyporeの減損損失があった前期からは改善

(億円)

	2022年度	2023年度	増減額
投資有価証券売却益	322	271	-51
固定資産売却益	7	5	-2
受取保険金	88	153	65
事業譲渡益	-	30	30
受取和解金	-	62	62
特別利益	417	521	104
投資有価証券評価損	28	18	-10
固定資産処分損	125	80	-45
減損損失	1,894	928	-966
火災損失	71	-	-71
事業構造改善費用	133	107	-26
特別損失	2,252	1,134	-1,118
特別損益	-1,834	-613	1,222

総資産	海外子会社の好調な業績に伴い現預金が増加したことに加え、円安に伴い海外子会社の資産が増加
負債	円安に伴い海外子会社の負債が増加
純資産	円安に伴いその他の包括利益累計額が増加

	2023/3月末	2024/3月末	増減額		2023/3月末	2024/3月末	増減額
流動資産	14,882	16,500	1,618	負債	17,585	18,141	556
現金及び預金	2,512	3,381	869	流動負債	9,122	9,146	24
受取手形、売掛金及び契約資産	4,427	4,859	432	支払手形及び買掛金	1,806	2,133	327
棚卸資産	6,426	6,788	363	その他	7,316	7,013	-303
その他	1,518	1,472	-46	固定負債	8,464	8,995	532
固定資産	19,657	20,127	470	純資産	16,954	18,486	1,532
有形固定資産	8,717	8,533	-184	株主資本	13,175	13,119	-56
無形固定資産 ^{*1}	7,362	7,547	186	資本金	1,034	1,034	-
投資その他の資産	3,578	4,047	468	資本剰余金	798	803	4
				利益剰余金 ^{*1}	11,417	11,355	-62
				自己株式	-74	-73	1
				その他の包括利益累計額	3,428	5,015	1,587
資産合計	34,539	36,627	2,088	非支配株主持分	351	352	1
				負債純資産合計	34,539	36,627	2,088
のれん残高 ^{*1}	3,486	3,607	121				
有利子負債 ^{*2}	9,395	9,170	-224				
D/Eレシオ	0.57	0.51	-0.06				

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2023年3月末の連結貸借対照表に計上した金額を遡及修正している

*2 リース債務除く

営業CF	税金等調整前当期純利益が増加したことに加え、在庫圧縮に努めたことなどによる運転資金需要の減少や、法人税等の支払いの減少などがあり、キャッシュ・インが増加
投資CF	前期のBionovaおよびFocus買収の影響が無くなったことからキャッシュ・アウトが減少
財務CF	借入金の返済などによりキャッシュ・アウトに転じた

	(億円)		
	2022年度	2023年度	増減額
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	908	2,953	2,045
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,136	-1,426	710
設備投資による支出	-1,722	-1,720	2
M&A関連による支出	-784	-	784
その他	370	294	-76
c. フリー・キャッシュ・フロー (a + b)	-1,228	1,527	2,755
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,118	-943	-2,061
e. 現金及び現金同等物に係る換算差額	157	297	139
現金及び現金同等物の増減額 (c + d + e)	47	880	833
配当後フリー・キャッシュ・フロー	-1,714	1,027	2,741

2. 2024年度通期予想

全セグメントにおいて増収・増益を見込む。自動車、電子機器、半導体市場などの緩やかな回復を背景とした「マテリアル」の業績改善や、「住宅」および「ヘルスケア」の堅調な成長を見込む

親会社株主に帰属する当期純利益は、基盤マテリアル事業などの一部事業の減損損失があった前期から改善

		2023年度			2024年度		2024年度 予想	23年度 vs24年度 増減額	23年度 vs24年度 増減率
		上期	下期		上期予想	下期予想			
売上高	(億円)	13,459	14,390	27,849	14,280	14,840	29,120	1,271	4.6%
営業利益	(億円)	559	849	1,407	800	1,000	1,800	393	27.9%
売上高営業利益率		4.2%	5.9%	5.1%	5.6%	6.7%	6.2%		
のれん償却前営業利益	(億円)	703	1,000	1,703	943	1,143	2,087	383	22.5%
EBITDA	(億円)	1,447	1,783	3,229	1,665	1,895	3,560	331	10.2%
売上高EBITDA率		10.7%	12.4%	11.6%	11.7%	12.8%	12.2%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	308	130	438	400	600	1,000	562	128.3%
EPS	(円)	22.25	9.35	31.60	28.86	43.28	72.14	40.54	128.3%
のれん償却前EPS	(円)	32.68	20.28	52.96	39.20	53.63	92.84	39.88	75.3%
相場平均為替レート（USD円）		141円	148円	145円	145円	145円	145円		
相場平均為替レート（ユーロ円）		153円	160円	157円	155円	155円	155円		
国産ナフサ価格		65,600円／kl	72,700円／kl	69,200円／kl	74,000円／kl	74,000円／kl	74,000円／kl		
1株当たり配当金		18円	18円	36円	18円 (予想)	18円 (予想)	36円 (予想)		

2024年度予想（セグメント別：前期比）

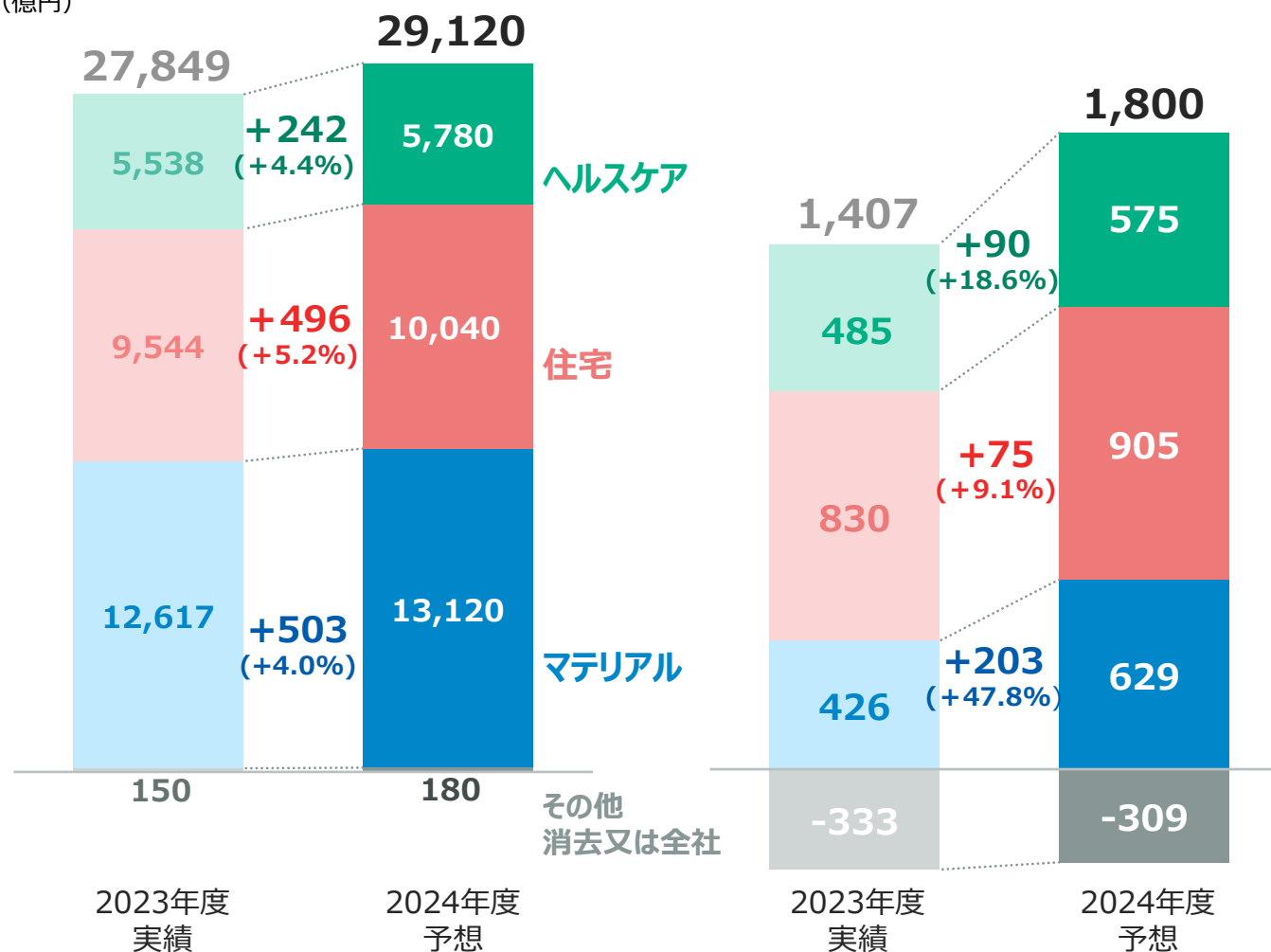
売上高 前期比

+1,271億円（+4.6%）

営業利益 前期比

+393億円（+27.9%）

（億円）



ヘルスケア

増収・増益

- **医薬・医療事業+18億円**：Envarsus XRなど主力製品が伸長することにより、増益
- **クリティカルケア事業+72億円**：除細動器の数量増加や販売価格上昇、部材調達難の影響の解消に加え、LifeVestの数量増加などにより、増益

住宅

増収・増益

- **住宅事業+65億円**：建築請負部門における大型化・高付加価値化による平均単価の上昇とコストダウンによる利益率上昇により、増益
- **建材事業+11億円**：価格転嫁の進捗により、増益

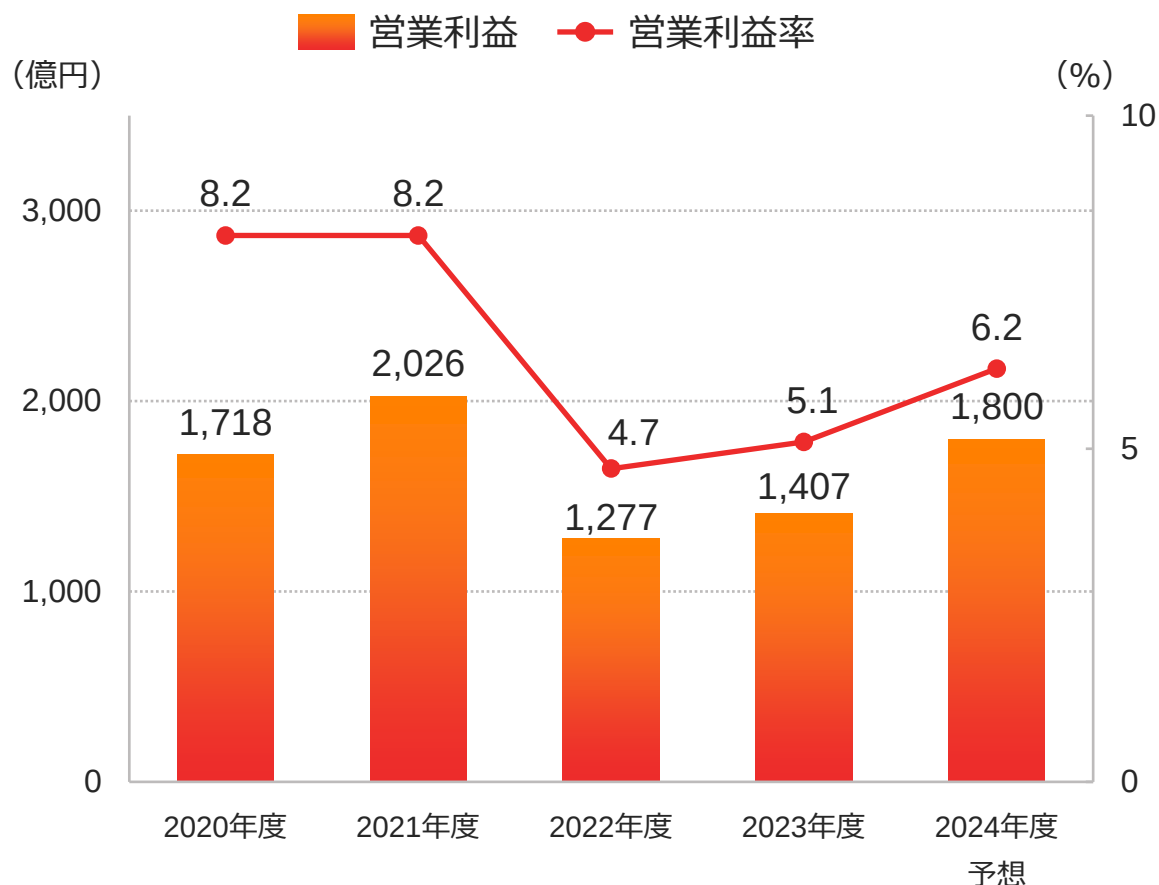
マテリアル

増収・増益

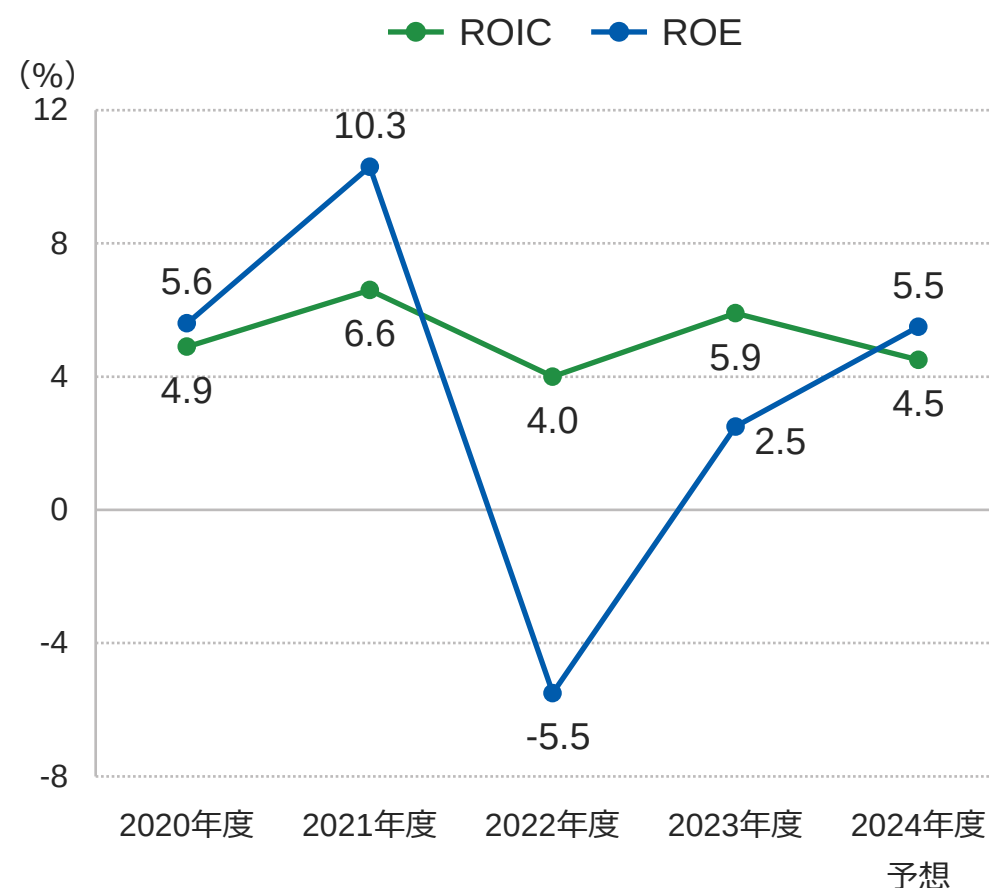
- **環境ソリューション事業+98億円**：基盤マテリアル事業における前期の定修影響や減損による償却費減少などにより、増益
- **モビリティ&インダストリアル事業+67億円**：エンジニアリング樹脂の販売量増加や、自動車内装材の製品構成差、交易条件の改善などにより、増益
- **ライフイノベーション事業+54億円**：デジタルソリューション事業でAIサーバー、ハイエンドスマホ、車載向けの各製品が堅調に推移し、増益

2023年度のROIC、ROEは、米国連結子会社間の株式譲渡による法人税等の益がある一方、「マテリアル」での業績低迷や基盤マテリアルなどの一部事業の減損損失の計上などから低水準。ROEは2024年度に向けて改善を見込む

営業利益／営業利益率の推移

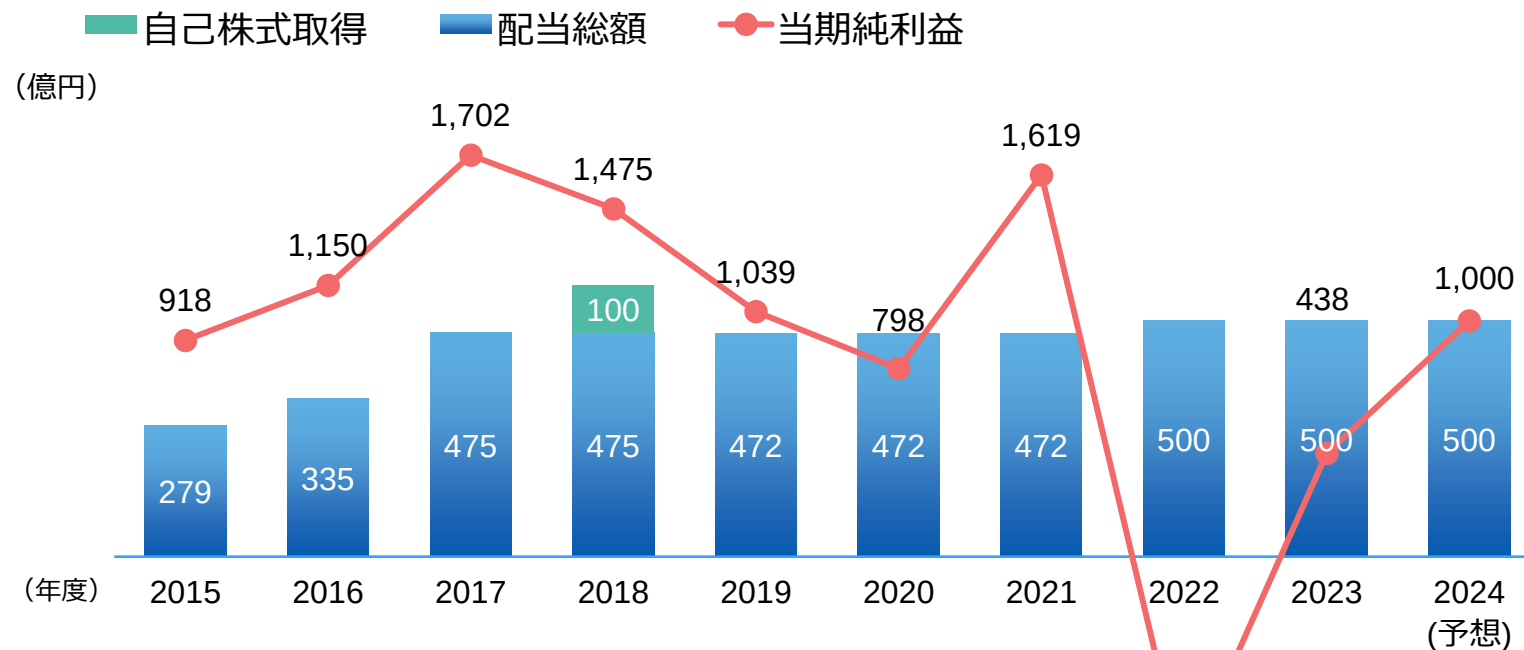


ROIC／ROEの推移



2023年度の年間配当は36円（前回予想から変更なし）

2024年度の年間配当は、株主還元方針を踏まえ、前年並みの36円を予想



株主還元方針

1

中期的なFCFの見通しから、株主還元の水準を判断する

2

配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す

3

配当性向30～40%
(中計3年間累計)を目安とし、配当水準の安定的向上を図る

4

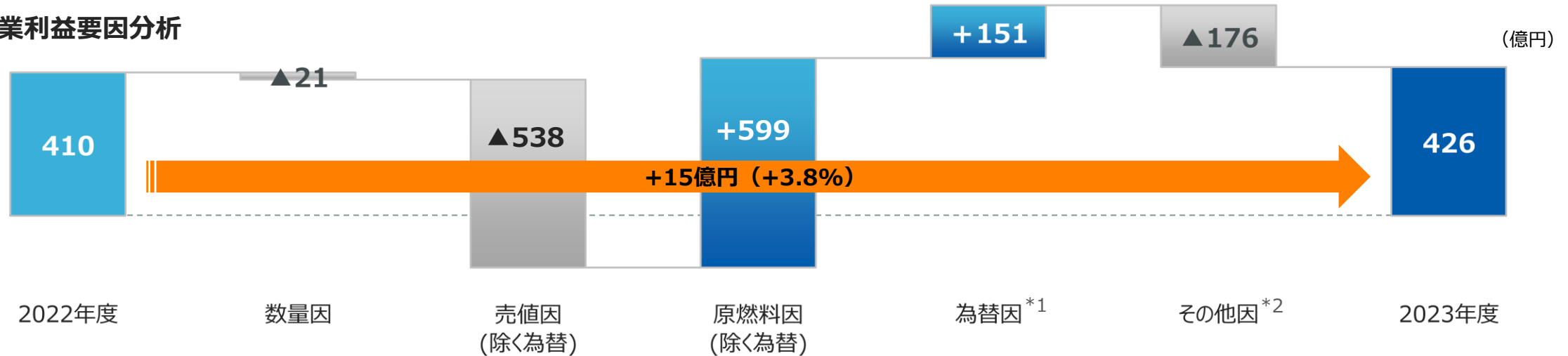
自己株式取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況などを総合的に勘案して検討・実施する

配当性向	30.4%	29.1%	27.9%	32.2%	45.4%	59.1%	29.1%	—	113.9%	49.9%
1株当たり配当金(円)	20	24	34	34	34	34	34	36	36	36

3. セグメント別詳細

需要減速による数量因やその他因（在庫影響、操業度など）のマイナスがあったが、市況下落による売値因のマイナスを、原燃料因や円安による為替因で大きくカバーしたことで交易条件が改善し、増益

■ 営業利益要因分析

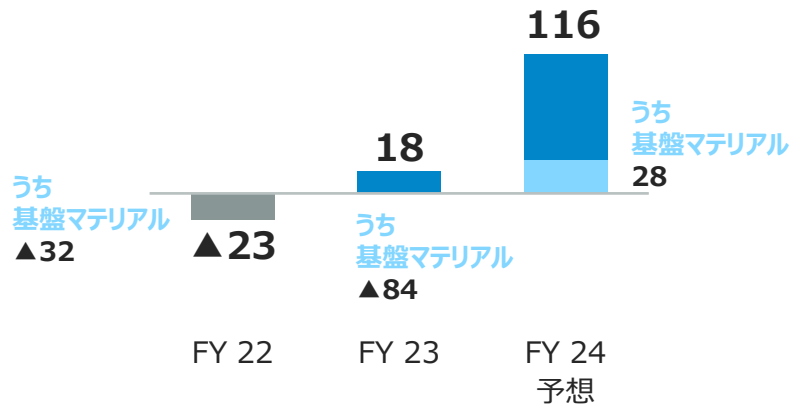


	売上高				営業利益								
	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	内訳				
									数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
マテリアルセグメント	13,166	12,617	-549	-4.2%	410	426	15	3.8%	-21	-538	599	151	-176
環境ソリューション事業	5,598	4,950	-649	-11.6%	-23	18	41	-	-55	-399	374	52	69*3
うち 基盤マテリアル事業	3,619	2,935	-684	-18.9%	-32	-84	-51	-					
モビリティ&インダストリアル事業	3,784	3,817	34	0.9%	108	130	22	20.4%	34	-188	200	44	-68
ライフイノベーション事業	3,777	3,847	70	1.9%	278	283	5	1.8%	1	49	-5	55	-94
うち デジタルソリューション事業	1,225	1,285	60	4.9%	142	125	-17	-11.8%					
マテリアル共通	7	3	-4	-59.1%	46	-6	-53	-	-	-	31*3	-	-84

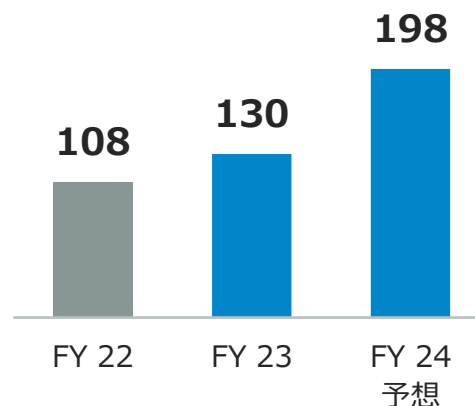
*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、在庫影響等 *3 環境ソリューションの営業利益の「その他因」には社内売値差が含まれているが、マテリアル全体としては「原燃料因」に含まれるものであるため、要因分析の補正として、相当する額をマテリアル共通の「原燃料因」と「その他因」にそれぞれプラスとマイナスで含めて表示している

■ 営業利益*1（億円）

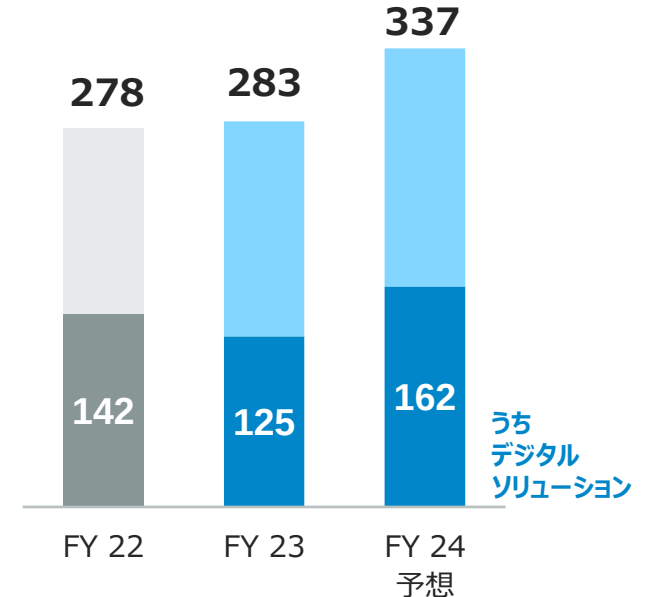
環境ソリューション



モビリティ&インダストリアル



ライフイノベーション



主な事業		2023年度 vs 2022年度 (YoY)		2024年度 vs 2023年度 (YoY)	
環境ソリューション	セパレータ	➡	前期の操業度悪化による在庫影響や経時的な価格改定があった一方で、前期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費減少により、増益	➡	車載用途で販売量が増加する一方、製品構成差や価格改定、固定費の増加などにより、減益
	基盤マテリアル	➡	需要低迷による販売量の減少や、在庫受払差、定修影響などにより、減益	➡	前期の定修影響の他、減損による償却費減少や、緩やかな市況改善による交易条件の好転を予想し、増益
モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	➡	自動車減産影響の改善や能力増強を受けて販売量が増加したことに加え、交易条件が改善し、増益	➡	北米や中国向けの合成皮革製品の販売量が堅調に推移することや、製品構成差、交易条件の改善等により、増益
	エンジニアリング樹脂	➡	自動車用途や太陽電池用途の販売量が増加したことに加え、交易条件が改善し、増益	➡	自動車用途や太陽電池用途の販売が堅調に推移することに加え、工業用途向け等の販売、交易条件の改善により、増益
ライフイノベーション	デジタルソリューション	➡	AIサーバーやハイエンドスマホ向け製品等が堅調に推移した一方で、在庫受払差の影響等により、減益	➡	AIサーバー、ハイエンドスマホ、車載向けの各製品等が堅調に推移することにより、増益

*1 従来「モビリティ&インダストリアル事業」に含めていた一部事業を、2024年度より「環境ソリューション事業」へ移管する（営業利益の影響は軽微。P45参照）

(億円)

売上高										22年度 vs23年度 増減率	23年度 vs24年度 増減率
	上期	下期	2022年度	上期	下期	2023年度	上期予想	下期予想	2024年度*1 予想		
マテリアルセグメント	6,788	6,378	13,166	6,102	6,515	12,617	6,352	6,768	13,120	-4.2%	4.0%
環境ソリューション事業	2,913	2,686	5,598	2,347	2,603	4,950	2,518	2,652	5,170	-11.6%	4.5%
うち 基盤マテリアル事業	1,874	1,745	3,619	1,383	1,552	2,935	1,519	1,541	3,060	-18.9%	4.2%
モビリティ&インダストリアル事業	1,921	1,863	3,784	1,877	1,940	3,817	1,950	1,990	3,940	0.9%	3.2%
ライフイノベーション事業	1,952	1,826	3,777	1,875	1,972	3,847	1,884	2,126	4,010	1.9%	4.2%
うち デジタルソリューション事業	665	560	1,225	610	674	1,285	654	726	1,380	4.9%	7.4%
マテリアル共通	3	4	7	3	0	3	-	-	-	-59.1%	-

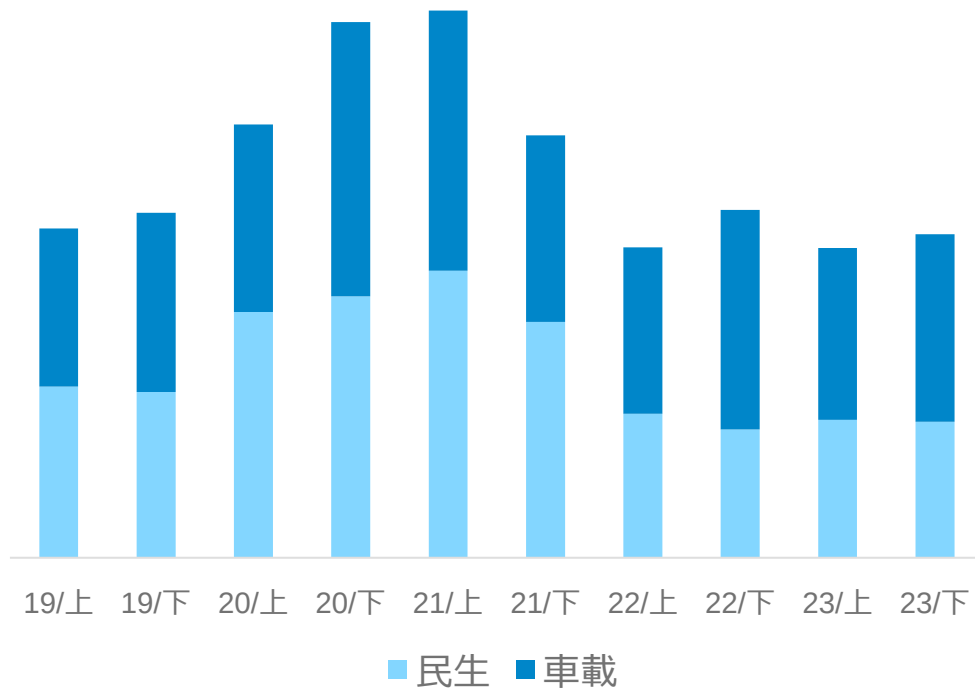
営業利益										22年度 vs23年度 増減率	23年度 vs24年度 増減率
	上期	下期	2022年度	上期	下期	2023年度	上期予想	下期予想	2024年度*1 予想		
マテリアルセグメント	406	4	410	177	248	426	287	342	629	3.8%	47.8%
環境ソリューション事業	125	-148	-23	-18	37	18	64	52	116	-	528.5%
うち 基盤マテリアル事業	95	-127	-32	-81	-3	-84	23	5	28	-	-
モビリティ& インダストリアル事業	91	17	108	69	61	130	86	111	198	20.4%	51.8%
ライフイノベーション事業	196	82	278	117	166	283	149	189	337	1.8%	19.1%
うち デジタルソリューション事業	105	37	142	53	73	125	70	92	162	-11.8%	29.4%
マテリアル共通	-6	52	46	10	-16	-6	-12	-10	-22	-	-

*1 従来「モビリティ&インダストリアル事業」に含めていた一部事業を、2024年度より「環境ソリューション事業」へ移管する。(営業利益の影響は軽微。P45参照)

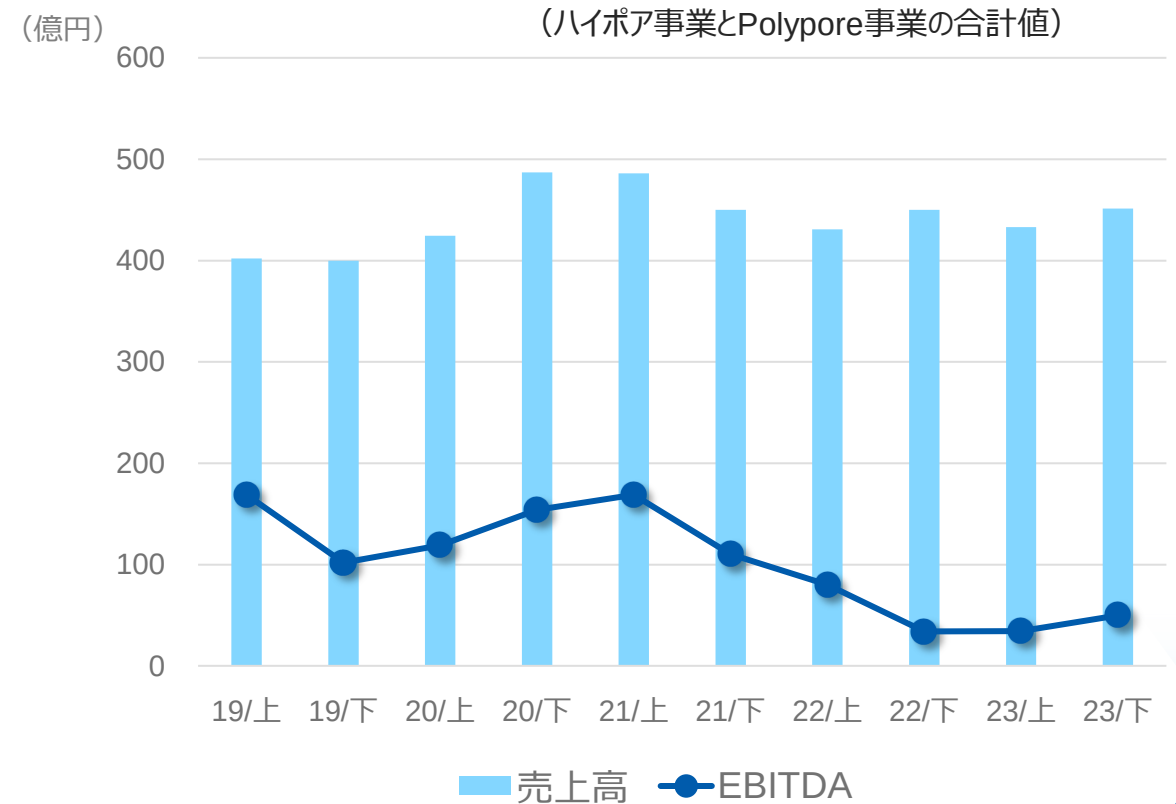
ハイポア（LIB用湿式セパレータ）は市場の成長に合わせて事業拡大してきたが、2021年度下期より自動車減産の影響による車載用途の需要減少や中国の景気後退を背景とした民生用途の需要減少により、販売量が減少。加えて、操業度の低下の影響もありEBITDAも低水準

2024年度以降は北米向けを中心に車載用途の販売量増加を見込む

ハイポアの販売量推移



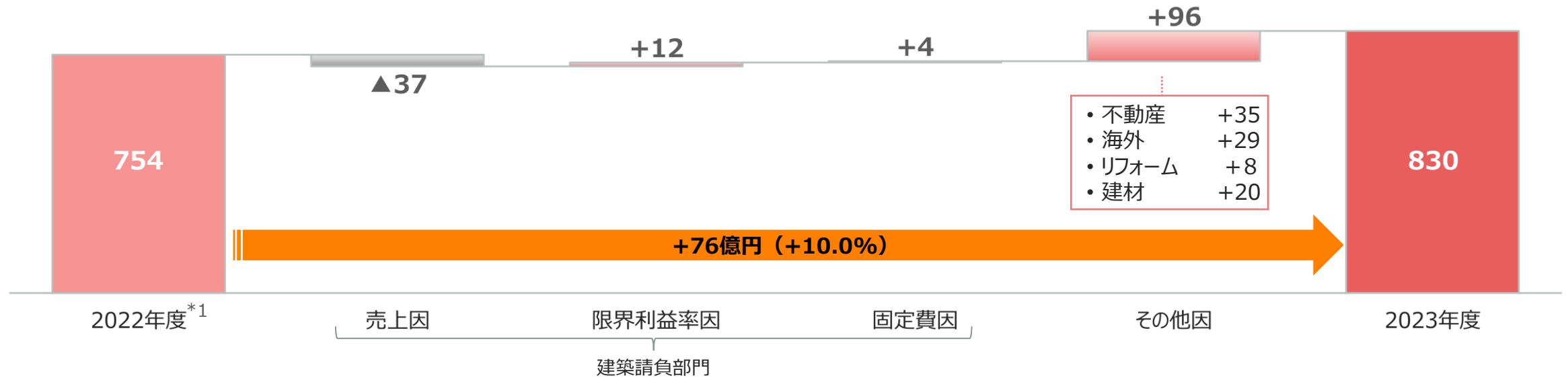
セパレータ事業の業績推移



建築請負部門において、数量減少による売上因のマイナスを平均単価の上昇や固定費削減でカバーしきれなかった一方で、不動産部門や海外部門、建材事業が順調に推移したことにより、増益

■ 営業利益要因分析

(億円)

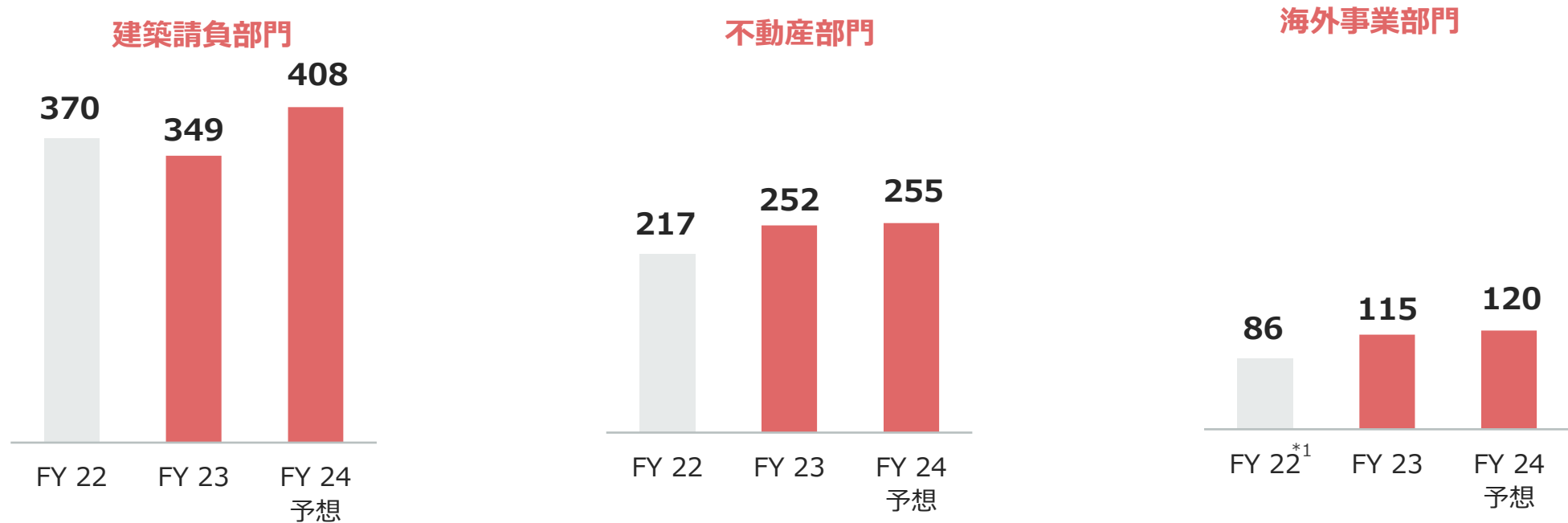


	売上高				営業利益							
	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度 ^{*1}	2023年度	増減額	増減率	内訳			
									建築請負部門			その他因
									売上因	限界利益率因	固定費因	
住宅セグメント	8,990	9,544	554	6.2%	754	830	76	10.0%	-37	12	4	96
住宅事業	8,592	9,129	536	6.2%	739	795	56	7.6%	-37	12	4	76 ^{*2}
建材事業	397	415	18	4.5%	15	34	20	133.8%	-	-	-	20

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

*2 不動産、リフォーム、海外、その他

■ 営業利益（億円）



主な事業		2023年度 vs 2022年度 (YoY)		2024年度予想 vs 2023年度 (YoY)	
住宅	建築請負部門	↙	物件の大型化・高付加価値化による平均単価の上昇や固定費削減が進んだが、数量減少と資材価格高騰の影響により、減益	↗	資材価格高騰影響が続くが、集合住宅を中心とする大型化・高付加価値化による平均単価上昇やコストダウンによる利益率改善により、増益
	不動産部門	↗	賃貸管理事業の管理戸数が堅調に増加した他、分譲マンションの販売物件の構成差により、増益	↗	賃貸管理事業は堅調に推移するが、分譲マンションの販売物件の構成差により、横ばい
	海外事業部門	↗	豪州事業において、資材費・労務費高騰の影響を大きく受けた前期に対し、当期は価格転嫁が進捗し、増益（北米事業は、木材市況下落に対し高い売値を維持できた前期に対し、減益）	↗	豪州事業は数量の減少により減益となるが、北米事業は数量の増加を見込むため増益となり、横ばい

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

(億円)

売上高			2022年度			2023年度			2024年度 予想	22年度 vs23年度 増減率	23年度 vs24年度 増減率
	上期	下期		上期	下期		上期予想	下期予想			
住宅セグメント	4,204	4,785	8,990	4,626	4,918	9,544	5,041	4,999	10,040	6.2%	5.2%
住宅事業	4,010	4,582	8,592	4,406	4,722	9,129	4,820	4,780	9,600	6.2%	5.2%
建築請負部門	1,966	2,141	4,107	1,956	2,054	4,010	2,055	2,125	4,180	-2.4%	4.3%
不動産部門	811	1,084	1,895	871	1,145	2,016	1,150	1,090	2,240	6.4%	11.1%
リフォーム部門	261	283	544	279	283	563	285	315	600	3.4%	6.6%
海外事業部門	968	1,066	2,034	1,294	1,233	2,528	1,320	1,220	2,540	24.2%	0.5%
その他	4	8	12	6	7	13	10	30	40	12.6%	202.6%
建材事業	194	203	397	220	195	415	221	219	440	4.5%	6.0%

営業利益			2022年度 ^{*1}			2023年度			2024年度 予想	22年度 vs23年度 増減率	23年度 vs24年度 増減率
	上期	下期 ^{*1}		上期	下期		上期予想	下期予想			
住宅セグメント	336	418	754	354	476	830	431	474	905	10.0%	9.1%
住宅事業	329	410	739	327	468	795	411	449	860	7.6%	8.1%
建築請負部門	162	208	370	149	200	349	163	245	408	-5.6%	16.9%
不動産部門	75	142	217	87	165	252	146	109	255	16.2%	1.2%
リフォーム部門	25	33	58	32	34	66	31	39	70	14.6%	5.9%
海外事業部門	64	21	86	51	64	115	70	50	120	34.2%	4.4%
その他	3	6	9	8	5	13	2	5	7	43.2%	-46.0%
建材事業	7	7	15	26	8	34	20	25	45	133.8%	31.1%

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

建築請負部門の受注高は、主に大型集合住宅の受注が好調に推移し、前期比で+10.8%となった。2024年度も引き続き高付加価値化を推進し、2023年度比+5.0%を目標とする

近年の集合住宅の受注拡大を受け、不動産部門における賃貸管理事業が着実に拡大

(単位：億円、() 内は対前年同期比)

		建築請負部門						不動産部門		
		受注		売上高				売上高 ^{*1}		
		受注高	受注残	戸建系	集合系	他	合計	開発	賃貸・仲介	合計
2021年度	上期	2,063 (42.0%)	5,635	1,274	510	106	1,890	218	642	860
	下期	1,780 (-1.8%)	5,333	1,423	606	116	2,145	295	670	965
	通期	3,843 (17.7%)		2,697	1,116	222	4,035	513	1,312	1,825
2022年度	上期	1,912 (-7.3%)	5,481	1,309	555	102	1,966	117	694	811
	下期	1,644 (-7.6%)	5,030	1,349	655	137	2,141	352	732	1,084
	通期	3,556 (-7.5%)		2,658	1,210	239	4,107	469	1,426	1,895
2023年度	上期	1,865 (-2.4%)	5,250	1,137	693	125	1,956	127	744	871
	下期	2,074 (26.2%)	5,204	1,166	740	147	2,054	342	804	1,145
	通期	3,939 (10.8%)		2,303	1,433	273	4,010	468	1,548	2,016
2024年度	通期見通し	4,138 (5.0%)					4,180	535	1,705	2,240

*1 不動産部門の売上高の内訳について、「開発事業」に分譲マンション事業などの売上高、「賃貸・仲介事業」に仲介事業と賃貸事業の売上高の合計値を表示するように変更している
(2021年度、2022年度の売上高を遡って修正)

2023年度実績

(右欄：前期比)

	受注高（億円）		受注戸数（戸）		引渡戸数（戸）*2	
戸建系	2,365	5.2%	5,234	0.5%	5,972	-18.6%
集合系	1,575	20.3%	5,600	4.1%	6,827	2.7%
その他（分譲）	-	-	-	-	30	-9.1%
建築請負部門合計	3,939	10.8%	10,834	2.4%	12,829	-8.4%

2024年度予想

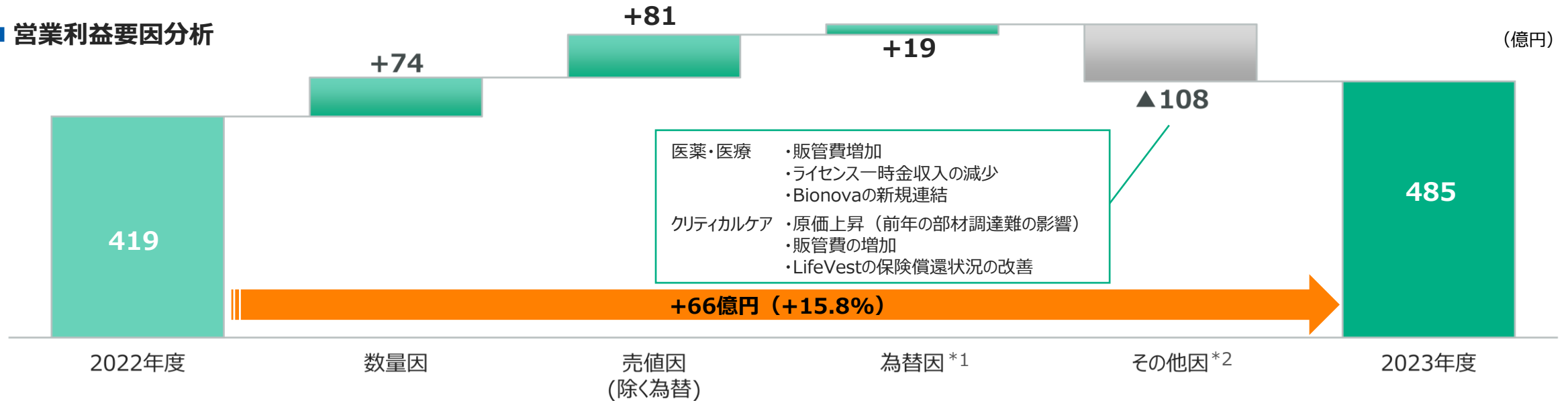
	受注高（億円）		受注戸数（戸）		引渡戸数（戸）*2	
戸建系	2,475	4.6%	5,510	5.3%	5,420	-9.2%
集合系	1,663	5.6%	5,900	5.4%	5,950	-12.8%
その他（分譲）	-	-	-	-	35	16.7%
建築請負部門合計	4,138	5.0%	11,410	5.3%	11,405	-11.1%

*1 受注高、受注戸数、引渡戸数、いずれも国内のみ

*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。よって、「引渡戸数」は売上高に連動しない

医薬・医療事業で、ライセンスの一時金収入の減少やBionova新規連結による減益影響などその他因のマイナスが響いた一方、クリティカルケア事業で、除細動器の価格転嫁進捗による売値因のプラスや部材調達難の改善に伴うAEDの販売量増加などの数量因のプラスがあり、増益

■ 営業利益要因分析

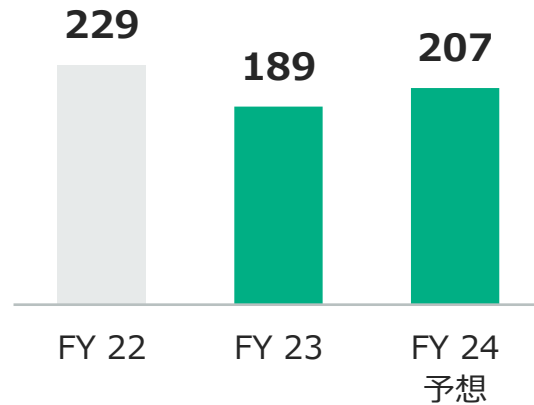


	売上高				営業利益							
	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	内訳			
									数量因	売値因 (除く為替)	為替因 ^{*1}	その他因 ^{*2}
ヘルスケアセグメント	4,969	5,538	569	11.5%	419	485	66	15.8%	74	81	19	-108
医薬・医療事業	2,002	2,084	82	4.1%	229	189	-40	-17.5%	24	-8	2	-59
クリティカルケア事業	2,967	3,454	487	16.4%	189	296	106	56.1%	49	89	17	-49

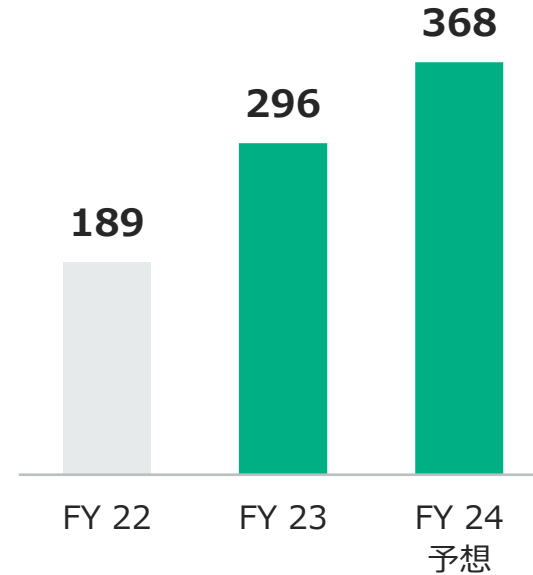
*1 売値因に関連する為替因 *2 為替換算差、固定費差、ライセンス導入・導出等の一時収益・費用、新規連結 など

■ 営業利益（億円）

医薬・医療



クリティカルケア



主な事業		2023年度 vs 2022年度（YoY）		2024年度予想 vs 2023年度（YoY）	
医薬・医療	医薬	↓	Envarsus XRなど主力製剤の販売が順調に推移したが、前期に計上されたライセンス一時金収入の減少や、Veloxisの販管費増加により、減益	↑	薬価改定影響があるが、Envarsus XRなど主力製剤の伸長に加え、前期に発売した製剤の売上も寄与するため、増益
	医療	↓	Bionovaの新規連結による減益影響に加え、プラノバの顧客の在庫調整に伴う販売量減少により、減益	↓	血液浄化事業における販売量減少に加え、プラノバにおいて販売量回復の一方で前期の原燃料価格上昇を受けた在庫影響を見込むことにより、減益
クリティカルケア	LifeVest	↑	保険償還状況の改善により、増益	↑	数量の増加および保険償還状況の改善により、増益
	除細動器	↑	価格転嫁の進捗や、部材調達難の改善に伴うAEDの販売量増加により、増益	↑	数量の増加および価格転嫁進捗に加えて、部材調達難の影響の解消も奏功し、増益

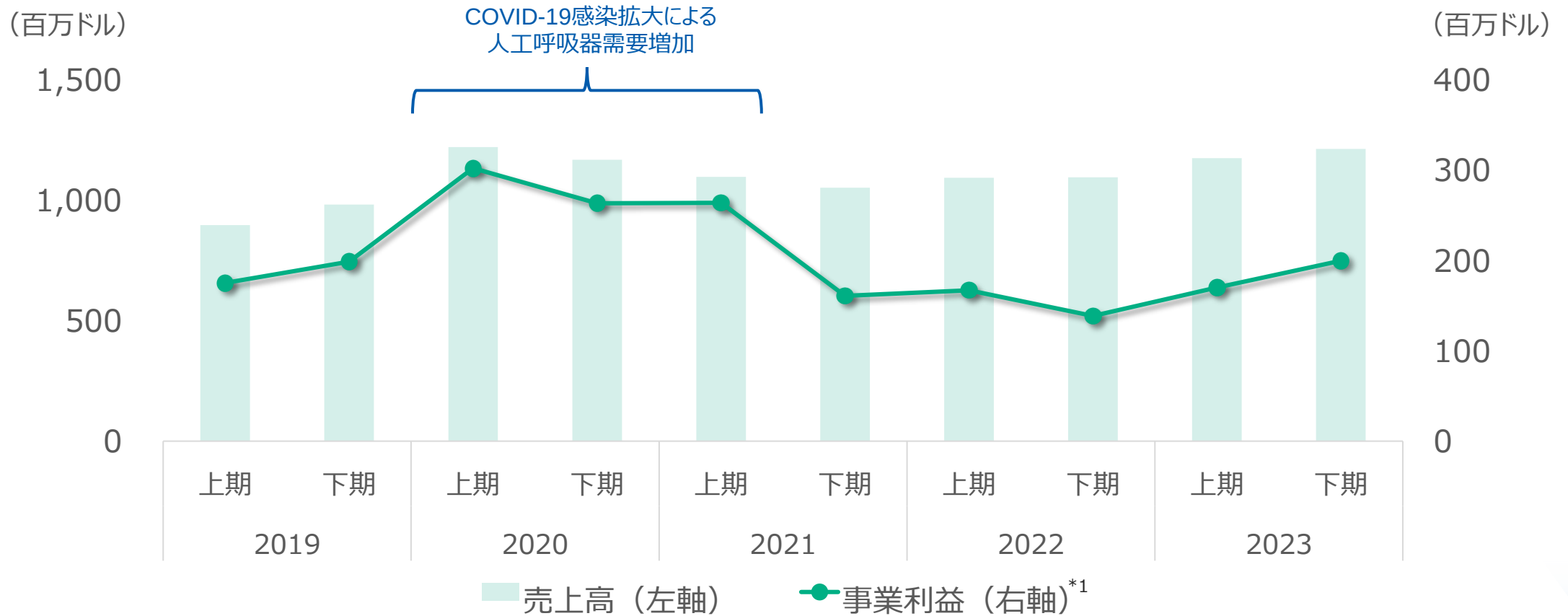
(億円)

売上高			2022年度			2023年度			2024年度 予想	22年度 vs23年度 増減率	23年度 vs24年度 増減率
	上期	下期		上期	下期		上期予想	下期予想			
ヘルスケアセグメント	2,455	2,514	4,969	2,665	2,873	5,538	2,812	2,968	5,780	11.5%	4.4%
医薬・医療事業	989	1,013	2,002	1,009	1,075	2,084	1,119	1,141	2,260	4.1%	8.5%
医薬事業	536	564	1,100	563	595	1,158	657	653	1,310	5.3%	13.1%
医療事業	453	449	902	445	480	926	462	488	950	2.6%	2.6%
クリティカルケア事業	1,466	1,501	2,967	1,657	1,797	3,454	1,693	1,827	3,520	16.4%	1.9%

営業利益			2022年度			2023年度			2024年度 予想	22年度 vs23年度 増減率	23年度 vs24年度 増減率
	上期	下期		上期	下期		上期予想	下期予想			
ヘルスケアセグメント	258	160	419	198	287	485	241	334	575	15.8%	18.6%
医薬・医療事業	146	84	229	75	114	189	96	111	207	-17.5%	9.4%
クリティカルケア事業	113	77	189	123	173	296	145	223	368	56.1%	24.4%

EBITDA			2022年度			2023年度			2024年度 予想	22年度 vs23年度 増減率	23年度 vs24年度 増減率
	上期	下期		上期	下期		上期予想	下期予想			
ヘルスケアセグメント	572	492	1,064	540	647	1,187	582	684	1,266	11.6%	6.7%
医薬・医療事業	272	222	494	217	265	482	240	263	503	-2.4%	4.3%
クリティカルケア事業	300	270	570	323	382	705	342	421	763	23.7%	8.3%

2021年度下期より、AED等における部材調達難の影響や、北米での医療機関向け除細動器の受注減少等により、一時的に利益が落ち込んだ。2023年度上期以降、部材調達難の解消や価格転嫁の進捗、LifeVestの保険償還状況の改善により、成長路線に回帰



*1 「事業利益」は以下ののれん、無形固定資産等償却額を除く営業利益
・ 2012年4月の当社によるZOLL買収に伴う日本会計基準・米国会計基準に基づく償却額
・ それ以降ZOLLが実施した買収に伴う日本会計基準に基づく償却額

(売上高の対象地域、単位)		2022年度			2023年度			前期比 増減額	前期比 増減率
		上期	下期	年間	上期	下期	年間		
＜旭化成ファーマ＞									
テリボン	(国内、億円)	207	192	399	194	195	388	-10	-2.6%
リコモジュリン	(")	42	42	84	41	41	82	-2	-2.6%
ケブザラ	(")	45	48	93	54	58	112	19	20.7%
リクラスト	(")	7	7	14	6	7	13	-1	-7.2%
プラケニル	(")	27	27	54	29	29	58	4	8.2%
＜Veloxis＞									
Envarsus XR	(米国、百万ドル)	88	97	186	107	114	220	35	18.8%

一般名		薬効・分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤（副甲状腺ホルモン：PTH）	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ（遺伝子組換え）	血液凝固阻止剤	DIC（汎発性血管内血液凝固症）	注射剤
ケブザラ	サリルマブ（遺伝子組換え）	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

開発コード（一般名）		適応症	起源	開発	備考（地域他）	
国内	申請中	AK1820 （イサブコナゾニウム硫酸塩）	アスペルギルス症・ムーコル症 クリプトコックス症	導入	自社	販売名「クレセンバ」 剤型追加
	フェーズⅢ	TA799 （アプラグルチド）	短腸症候群	導入	他社	日本におけるフェーズⅠは 当社が実施
	フェーズⅡ	ART-123 （トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え））	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	効能追加 （日米共同フェーズⅠ実施中）
	フェーズⅡ	AK1830	変形性関節症に伴う疼痛	導入	自社	
	フェーズⅡ		慢性腰痛症に伴う疼痛			
	フェーズⅠ	AK1910	自己免疫疾患	導入	自社	
海外	フェーズⅢ	ART-123 （トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え））	凝固異常を伴う重症敗血症	自社	自社	米国・欧州他
	フェーズⅠ	ART-123 （トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え））	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	自社	米国
	フェーズⅠ	AK1320	脊椎固定術	自社	自社	北米
	フェーズⅠ	VEL-101	臓器移植	導入	自社	米国他
導出品	フェーズⅡ	LY3857210	慢性疼痛	共同開発	他社	導出先開発中 （日中販売権は当社が保持）

セグメント別Management KPI*¹推移

		(億円)	2022年度実績* ²	2023年度実績	2024年度予想
ヘルスケア	売上高(a)		4,969	5,538	5,780
	営業利益(b)		419	485	575
	営業利益率(b/a)		8.4%	8.8%	9.9%
	EBITDA(c)		1,064	1,187	1,266
	EBITDA率(c/a)		21.4%	21.4%	21.9%
	ROIC		4.2%	4.5%	5.3%
住宅	売上高(a)		8,990	9,544	10,040
	営業利益(b)		754	830	905
	営業利益率(b/a)		8.4%	8.7%	9.0%
	EBITDA(c)		934	1,043	1,117
	EBITDA率(c/a)		10.4%	10.9%	11.1%
	FCF率		1.3%	7.1%	2.7%
	ROIC		27.1%	27.1%	26.4%
マテリアル	売上高(a)		13,166	12,617	13,120
	営業利益(b)		410	426	629
	営業利益率(b/a)		3.1%	3.4%	4.8%
	EBITDA(c)		1,285	1,199	1,342
	EBITDA率(c/a)		9.8%	9.5%	10.2%
	ROIC		2.4%	2.6%	3.6%

*1 ハイライトされている指標が各セグメントのManagement KPI。本表の計数は各セグメントごとの見直しおよび計画であり、合算した数値は全社の値とは一致しない

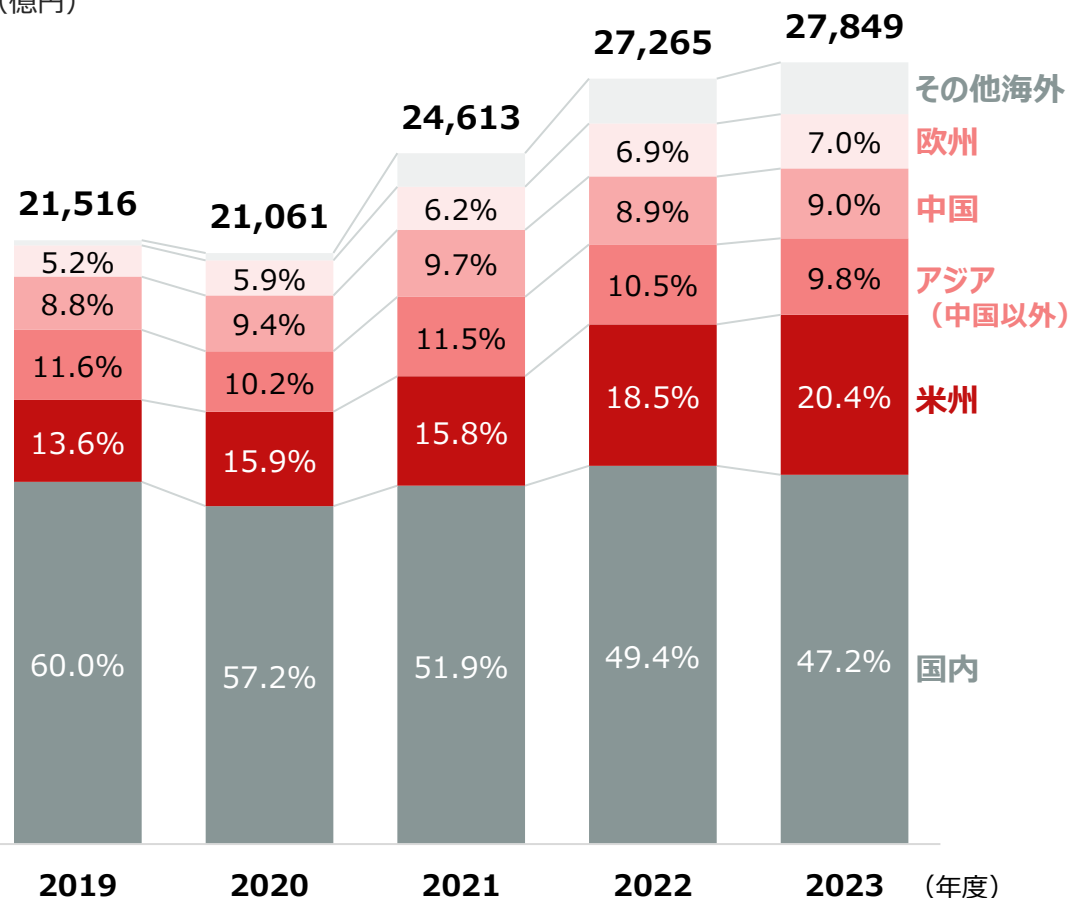
*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

4. 参考資料

米国における「ヘルスケア」や「住宅」のM&A等により米国の売上高比率が増加。中国は景気停滞の影響などによりほぼ同比率が継続

■ 海外売上高の推移・地域構成

(億円)



■ 海外売上高

(億円)

	2022年度		2023年度		前期比 増減額	前期比 増減率
	海外売上 高	海外売上 高比率	海外売上高	海外売上 高比率		
マテリアルセグメント	7,855	59.7%	7,707	61.1%	-148	-1.9%
環境ソリューション	3,191	57.0%	2,856	57.7%	-335	-10.5%
モビリティ&インダストリアル	2,998	79.2%	3,056	80.0%	57	1.9%
ライフイノベーション	1,659	43.9%	1,793	46.6%	134	8.1%
マテリアル共通	7	100.0%	3	97.0%	-4	-60.3%
住宅セグメント	2,034	22.6%	2,528	26.5%	493	24.2%
住宅	2,034	23.7%	2,528	27.7%	493	24.2%
建材	-	-	-	-	-	-
ヘルスケアセグメント	3,886	78.2%	4,443	80.2%	557	14.3%
医薬・医療	967	48.3%	1,041	50.0%	74	7.6%
クリティカルケア	2,919	98.4%	3,402	98.5%	483	16.6%
その他	10	7.2%	13	8.5%	3	26.1%
合 計	13,785	50.6%	14,690	52.8%	905	6.6%

設備投資額、減価償却費、研究開発費

AsahiKASEI

(億円)

	設備投資額			減価償却費 ^{*1}			研究開発費		
	2022年度	2023年度	2024年度 予想	2022年度 ^{*2}	2023年度	2024年度 予想	2022年度	2023年度	2024年度 予想
マテリアルセグメント	1,065	1,115	2,140	721	720		418	438	
環境ソリューション	505	562		345	321		105	123	
モビリティ&インダストリアル	184	245		166	186		112	127	
ライフイノベーション	374	306		208	212		191	181	
マテリアル共通	2	2		1	2		10	8	
住宅セグメント	257	258	230	172	201		39	36	
住宅	232	235		148	178		33	30	
建材	25	23		24	23		6	6	
ヘルスケアセグメント	251	322	480	434	472		466	478	
医薬・医療	130	209		222	243		201	204	
クリティカルケア	121	113		212	229		265	274	
その他	6	11	10	8	9		1	1	
消去又は全社	169	132	190	65	124		126	113	
合 計	1,749	1,837	3,050	1,400	1,526	1,470	1,050	1,066	1,120

(参考) のれん償却額

373	296
-----	-----

*1 有形固定資産、無形固定資産（除く、のれん）の償却額を合算した金額で開示している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

セグメント	サブセグメント	設備投資件名 ^{*1}	完工／稼働 予定時期	能力	立地
マテリアル	環境ソリューション	水力発電所改修（水ヶ崎発電所）	2025年度上期	—	宮崎県西臼杵郡
		リチウムイオン電池用セパレータ「ハイポア」の生産能力増強	2024年度上期	約3.5億㎡／年	宮崎県日向市
		リチウムイオン電池用セパレータ「セルガード」の生産能力増強	2024年度以降	約1.5億㎡／年	米国ノースカロライナ州
		リチウムイオン電池用セパレータ「ハイポア」の塗工能力増強	2026年度上期	約7億㎡／年	米国ノースカロライナ州、 宮崎県日向市、韓国 平澤市
ヘルスケア	医薬・医療	ウイルス除去フィルター「プラノバ」新組立工場建設	2024年度上期	—	宮崎県延岡市
		バイオ医薬品CDMOのBionovaの能力増強	2025年度	—	米国カリフォルニア州

*1 2023年度の工事中設備投資案件を記載

主なM&A案件（2022年4月以降）

セグメント	サブセグメント	企業名	事業内容	PL連結開始	買収金額	のれん発生額
住宅	住宅	Focus (Focus Plumbing LLCなど5社)	北米における住宅の建築工事	2022年11月1日	362億円	128億円
ヘルスケア	医薬・医療	Bionova Holdings, Inc.	バイオ医薬品製薬企業への製造プロセス開発受託、抗体医薬品GMP製造受託、次世代抗体医薬品GMP製造受託	2022年7月1日	429億円	355億円

(億円)

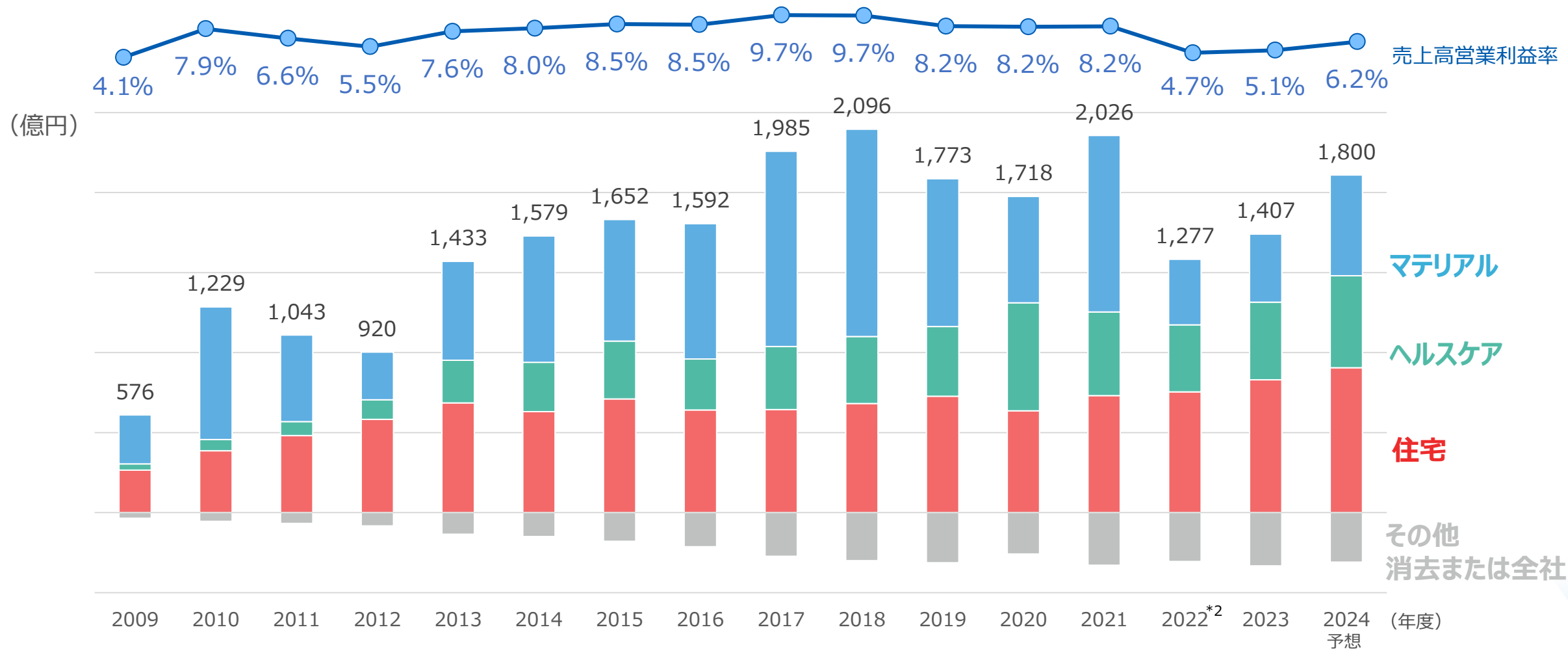
	2020年度＜組替後＞				2021年度＜組替後＞				2022年度				2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	2,080	2,368	2,710	2,890	2,796	2,963	3,152	3,189	3,394	3,394	3,270	3,108	2,968	3,134	3,289	3,226
環境ソリューション事業	890	951	1,065	1,237	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,414	1,368	1,318	1,146	1,201	1,328	1,274
うち 基盤マテリアル事業	537	559	644	771	724	823	902	900	1,001	873	887	859	662	721	808	744
モビリティ&インダストリアル事業	391	556	716	768	754	765	807	896	925	997	940	923	918	960	960	980
ライフイノベーション事業	799	859	927	883	850	905	971	919	969	983	960	865	903	973	1,000	972
うち デジタルソリューション事業	280	281	307	275	286	306	313	309	342	323	299	261	294	317	331	343
マテリアル共通	-0	3	2	2	0	3	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0
住宅セグメント	1,478	1,848	1,702	1,771	1,951	1,979	2,183	2,112	2,066	2,138	2,301	2,484	2,211	2,416	2,400	2,517
住宅	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	2,035	2,195	2,388	2,105	2,302	2,295	2,427
建材	88	95	92	76	79	93	98	90	92	103	107	96	106	114	105	90
ヘルスケアセグメント	957	1,092	1,030	1,000	1,058	1,001	1,070	1,030	1,214	1,241	1,286	1,228	1,294	1,371	1,455	1,417
医薬・医療	365	378	407	394	428	426	468	421	505	485	545	468	511	498	564	512
クリティカルケア	592	714	623	606	630	575	603	609	710	756	741	760	783	873	892	906
その他	36	35	30	33	30	33	32	35	30	35	34	41	34	31	38	46
合 計	4,552	5,342	5,473	5,694	5,834	5,976	6,437	6,366	6,704	6,808	6,892	6,861	6,507	6,952	7,182	7,207

(億円)

	2020年度＜組替後＞				2021年度＜組替後＞				2022年度				2023年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q ^{*1}	4Q ^{*1}	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	80	110	209	230	311	275	298	176	268	139	81	-77	76	101	130	118
環境ソリューション事業	19	44	82	130	143	145	138	62	102	24	-26	-122	-7	-11	20	16
うち 基盤マテリアル事業	-10	20	42	89	82	108	100	64	83	12	-42	-85	-51	-29	-3	0
モビリティ&インダストリアル事業	-33	8	39	63	82	50	54	71	52	39	5	12	30	39	16	45
ライフイノベーション事業	82	66	90	55	102	89	108	49	121	75	77	6	45	72	98	69
うち デジタルソリューション事業	31	28	38	36	43	46	46	34	67	38	32	5	20	33	40	33
マテリアル共通	12	-8	-3	-18	-16	-11	-2	-6	-6	1	25	27	8	2	-4	-12
住宅セグメント	106	209	164	152	151	181	223	173	153	183	185	233	134	219	219	257
住宅	98	196	155	148	147	173	213	173	150	179	179	231	125	202	212	256
建材	10	13	11	0	4	8	10	0	3	4	6	1	9	17	7	1
ヘルスケアセグメント	155	199	204	118	205	138	159	20	148	110	114	46	96	103	158	129
医薬・医療	57	51	88	34	76	59	90	-7	100	45	79	5	51	24	80	34
クリティカルケア	98	148	117	84	129	78	69	27	48	65	35	41	45	79	78	95
その他	8	10	9	15	5	12	9	15	6	12	8	17	6	10	6	9
消去又は全社	-48	-61	-58	-92	-67	-79	-80	-98	-81	-79	-86	-102	-94	-92	-87	-91
合 計	301	467	527	423	605	526	609	286	494	364	303	117	218	341	426	422

*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

「住宅」の安定的な利益成長や、「ヘルスケア」の利益の拡大により、利益構造はレジリエント化が進んでいる。「マテリアル」は経営環境の悪化を受けて2018年度の営業利益をピークに減少していたが、2022年度を底に改善、グループ全体も増益傾向



*1 過年度の実績については、参考情報として現在の開示区分に簡便的に組み替えて表示している

*2 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

セグメント	サブセグメント	主な事業
マテリアル	環境ソリューション	セパレータ
		膜・システム
		合成ゴム・エラストマー
		基盤マテリアル 石化関連事業
	モビリティ&インダストリアル	自動車内装材
		エンジニアリング樹脂
		機能性コーティング
	ライフイノベーション	デジタルソリューション 電子材料
		デジタルソリューション 電子部品
		コンフォートライフ 高機能マテリアル（添加剤他）
		コンフォートライフ 繊維（衣料用途他）
		コンフォートライフ 消費財
住宅	住宅	建築請負（戸建・集合）
		不動産（分譲マンション・賃貸管理）
		リフォーム
		海外住宅（北米・豪州）
	建材	建材
ヘルスケア	医薬・医療	医薬（医療用医薬品）
		医療（バイオプロセス・血液浄化）
	クリティカルケア	除細動器
		LifeVest（着用型自動除細動器）

(参考) 2024年度以降のマテリアル領域における一部開示変更

- 従来、モビリティ&インダストリアル事業に含めていた一部事業を、2024年度より環境ソリューション事業へ移管する
(本説明会資料における2023年度の実績は、移管前の実績を表示)

売上高	2023年度 <移管前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	2,968	3,134	3,289	3,226
環境ソリューション事業	1,146	1,201	1,328	1,274
うち 基盤マテリアル事業	662	721	808	744
モビリティ&インダストリアル事業	918	960	960	980
ライフイノベーション事業	903	973	1,000	972
うち デジタルソリューション事業	294	317	331	343
マテリアル共通	2	0	0	0

営業利益	2023年度 <移管前>			
	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	76	101	130	118
環境ソリューション事業	-7	-11	20	16
うち 基盤マテリアル事業	-51	-29	-3	0
モビリティ&インダストリアル事業	30	39	16	45
ライフイノベーション事業	45	72	98	69
うち デジタルソリューション事業	20	33	40	33
マテリアル共通	8	2	-4	-12

2023年度 <移管後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
2,968	3,134	3,289	3,226
1,162	1,218	1,348	1,292
662	721	808	744
901	943	941	962
903	973	1,000	972
294	317	331	343
2	0	0	0

2023年度 <移管後>			
1Q	2Q	3Q	4Q
76	101	130	118
-7	-9	22	17
-51	-29	-3	0
30	37	14	45
45	72	98	69
20	33	40	33
8	2	-4	-12

- 2022年度以前の実績について、2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している
- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している
- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない
- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）

<お知らせ>

**2024年度第1四半期決算
決算発表予定日**

2024年7月31日（水）